



みはらし
みるさと便り

第7号

平成20年11月
発行

発行：三原市農業委員会

編集：編集委員会

農業委員会事務局 ☎0848 - 67 - 6144



もくじ

表紙	1	免税軽油・農業者年金の案内	5
がんばっています	2	農業委員会はこんな仕事をしています ...	6
三原生まれの野菜・果物を食べよう	3	会長あいさつ・第3期農業委員会名簿 ...	7
税務署からのお知らせ	4	さわやかさん紹介	8

がんばっています



佐木島の紹介

佐木島は「トライアスロンさぎしま」として県内外から多くのアスリート達が、過酷なレースに挑戦しています。ボランティアや島民あげての支援で今年8月31日に第19回目の大会がありました。農業振興と住みよい地域づくりにとって、この大会が大きな支えとなっています。

佐木島の農業の中心は柑橘とメロンやわけぎ等の野菜です。

柑橘は今までは温州みかん中心でした。しかし、近年は温暖化や気象変動による影響が少なく、収益性の高い品種への転換がすすめられています。具体的には、「いしじ」「デコポン」「はるみ」「レモン」に取り組んでいます。

メロンはアリスメロン・ローランメロンを栽培しています。

また、野菜の主力である「わけぎ」は栽培面積が約16ヘクタールあり、三原市全体の65%を占める中心産地です。本来、わけぎは冬場の作物で、これから旬を迎えます。

わけぎを使った料理として、一般的には、タコやアサリ、揚げなどとともに酢味噌で和える「わけぎのめた」が有名ですが、最近「ねぎ焼き」の材料としても親しまれています。

全国農業新聞

全国農業新聞は「農に係る情報」を提供します。
営農、生活に役立ちます。

発行日 毎週金曜日 購読料 一カ月600円(送料込)

お申し込みは、農業委員会事務局へ
(電話) (0848) 67 - 6144

三原生まれの野菜・果物を食べよう。



新鮮

朝取りだから

安価

直売だから

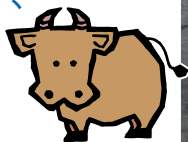
- 旬のものを食べますか？
- きれいなものを食べますか？
- 安全なものを食べますか？
- おいしいものを食べますか？

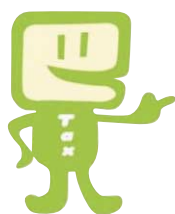
安心

顔が見えるから



近くで取れる
ものだから、
旬を逃がさず、
新鮮でおいしい。





税務署からのお知らせ



e-Tax をご利用ください。

e-Tax を利用して所得税の申告をすると...



最高5,000円の税額控除を受けることができます。

平成20年分
が最後です！

平成20年分の所得税の確定申告書の提出を、本人の電子署名及び電子証明書を付して、期間内（注）に、e-Taxを利用して行う場合、所得税額から最高5,000円の控除を受けることができます（平成19年分の確定申告で本控除の適用を受けた方は受けられません。）

（注）平成20年分は平成21年1月5日から3月16日

医療費の領収書や源泉徴収票等の提出又は提示を省略できます。

医療費の領収書や給与所得の源泉徴収票等の一定の書類は、e-Taxを利用して書類の記載内容を入力して送信することにより、その書類の提出又は提示を省略することができます（平成19年分以降に限ります）

なお、書類の内容確認のため、確定申告期限から3年間、提出又は提示を求めることがあります。

e-Taxで申告された還付申告は早期処理しています（3週間程度に短縮）。

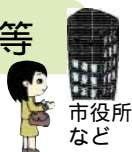
e-Tax をご利用いただく前に

開始届出書の提出



電子申告・納税等開始届出書をe-Taxホームページの「開始届出」メニューからオンラインで提出できます（書面による提出も可能です）。

電子証明書の取得等



電子証明書付きの住民基本台帳カードを取得（費用がかかります）し、ICカードリーダライタを購入します。

e-Taxの初期登録



利用者識別番号等通知書が届きましたら、e-Taxホームページの「初期登録」メニューから住民基本台帳カード内の電子証明書の登録などを行います。

詳しくは、e-Taxホームページをご覧ください。

イータックス

検索

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

農作業に軽油を使用されるみなさまへ

農家のみなさまが農作業に使用される軽油は、免税証の交付などの手続きを受けた場合、軽油取引税がかからない価格で購入することができます。軽油取引税は32.1円/リットルですので、例えば1,000リットルを購入する場合、32,100円が免税されます。

また、条件を満たせば、委託を受けて農作業を行う場合にも、免税を受けることができます。

《対象となる農業用の軽油》

農業を営む者が、農業に使用する機械（トラクター、コンバイン、脱穀機等）の動力源に使用する軽油。

《免税の手続き》

尾三地域事務所税務局へ「免税軽油使用者証」の交付申請を行い、免税軽油使用者として承認を受けます。

尾三地域事務所税務局へ使用見込数量や引取予定販売所名等を記載した申請書を提出し、「免税証」の交付を受けます。

免税証に記載されている軽油の販売業者に免

税証を提示し、免税軽油を購入します。

免税軽油の引き取り等の実績を尾三地域事務所長へ報告します。

《免税手続きに必要な書類一覧》

申請に必要な書類	備考
申請書	様式は尾三地域事務所税務局にあります。〔要印かん〕
広島県収入証紙	尾三地域事務所販売しています。(600円)
誓約書	2年以内に国税又は地方税の滞納処分を受けていないこと等についての誓約書です。様式は尾三地域事務所税務局にあります。
耕作証明書または農作業受委託証明書	三原市農業委員会事務局および各支所産業建設課で申請・受取りができます。(200円)
農機具の所有・使用証明書	販売証明書、貸借契約書、農機具のカタログ等
農機具の写真(前・後・横)	型式・製造番号が認識できるもの

詳細は尾三地域事務所税務局課税第一課(0848-25-2011)にお問い合わせください。

しっかりと積み立て、がっちりサポート

農業者年金

農業者年金のメリット

- ・ 80歳までの保証がついた年金
- ・ 終身の年金でありながら、80歳前に死亡された場合、死亡した翌月から80歳まで受け取れるはずだった農業者老齢年金が、死亡一時金として遺族に支給

税制上の優遇措置

- ・ 支払った保険料は、全額が社会保険料控除
- ・ 受け取る年金は、公的年金等控除の対象
- ・ 運営事務費は、補助金でまかない、保険料はすべて年金に充当

年齢要件(65歳に到達すれば納付1ヶ月でも年金受け取りが可能)

農業者年金の加入資格

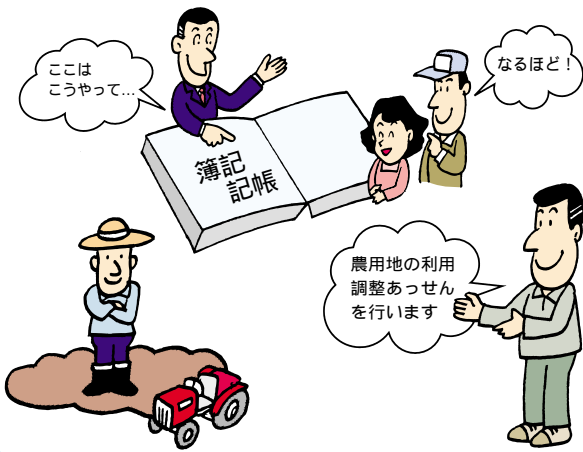
- ・ 年間、60日以上農業に従事
- ・ 国民年金の第1号被保険者(保険料免除を受けていない人)
- ・ 年齢60歳未満

保険料

月2万円から6万7千円まで千円単位・月単位で増額・減額の見直しが可能(国民年金付加保険料が別に月4百円)
 農業の担い手(認定農業者など)は一定の条件を満たせば保険料の割引(国庫補助)制度があります。



1 認定農業者等への農地の利用集積、経営改善の支援



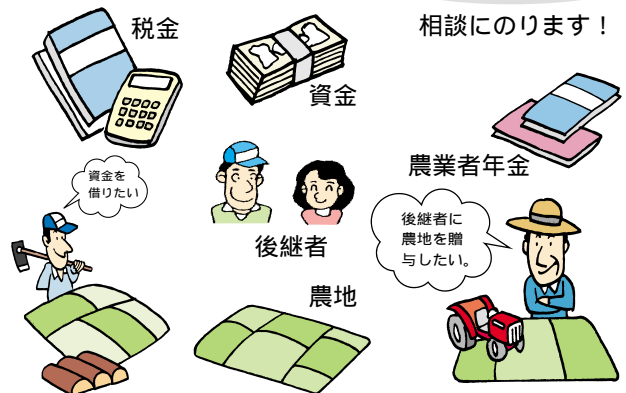
農業委員会はこんな仕事をしています



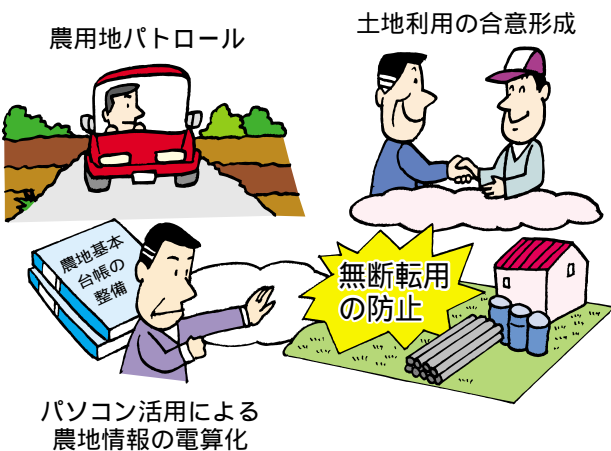
2 集落の声を集めて行政に建議、諮問に答申



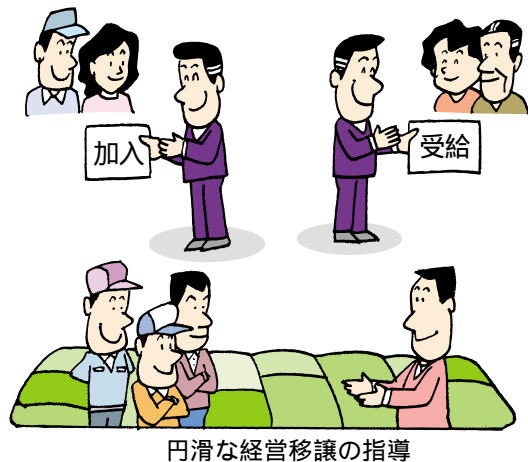
3 農業委員は地域の「世話役」、農家の相談相手



4 地域農業と優良農地の保全確保、農地情報等の一元管理



5 農業者年金の加入と受給手続きをお手伝い



本年7月に農業委員の選挙が実施され、30名の委員が選出されました。8名の選任委員を加え、38名の委員で第3期三原市農業委員会が活動を開始しました。

「食の安全」「安定供給」と「農村の維持発展」を図るべく、「地産地消」「担い手の育成」に心血を注ぎ、行動する農業委員会をめざしていきます。

市民の皆様方のご意見、ご要望がございましたら、ご遠慮なくお近くの委員、事務局まで御申し出ください。

三原市農業委員会 会長 近 廣 多 郎

第3期 三原市農業委員会名簿

平成20年7月20日～平成23年7月19日

氏 名	担当地区	氏 名	担当地区
大 本 倬 司	木原・糸崎・三原	増 田 忍	久井
為 清 敏 治	中之町・深町	門 田 紘 司	久井
櫻 幸 雄	八幡	正 輝 生	羽和泉(泉)
舛 本 忠	高坂・西野	宗 行 卓 三	羽和泉(泉)
下 見 純 雄	長谷	恩 地 隆 雄	羽和泉(和草)
河 野 義 信	小泉・沼田西	上 西 信 昭	羽和泉(羽倉)
山 本 重 美	小泉・沼田西	下 西 忠 明	坂井原
森 岡 正 典	沼田東(北)	土 居 嘉 明	中野
上 森 博 夫	沼田東(南)	松 浦 孝 行	中野
山 下 長 徳	田野浦・須波	近 廣 多 郎	上徳良
新 畠 雅 美	幸崎	谷 川 正 法	下徳良
岡 田 昭 臣	鷺浦	小 地 勝 美	萩原
登 木 敏 之	鷺浦	吉 森 峻 二	福田
中 川 隆 光	本郷南・本郷北	玉 川 功 士	篠・蔵宗
竹 田 利 幸	船木	東 森 照 義	大草
宮 岡 恒 輔	北方	上 竹 光 範	大草・平坂
加 村 百合一	北方	宝 利 俊 之	大具
兼 廣 博 三	南方	中 本 義 昭	和木
森 重 一 裕	南方	井 長 哲	榎梨(椋梨・下草井・上草井)



おめでとうございます
 ございます

平成20年春の叙勲で本郷町南方の神明正明さんが旭日双光章を受賞されました。

旭日双光章
 神明 正明
 (元豊田郡本郷町農業委員会会長
 元広島県農業会議常任会議員)

さわやかさん紹介

農事組合法人ユートピアかみなか

三原市大和町大草の(農)「ユートピアかみなか」は地域の農地を守り活性化させるため、さまざまな取り組みを行っています。

一つは新規就農者の受け入れです。この4月から呉市出身の山本悠太さん(20)が法人で働いています。この春、庄原市にある県立農業技術大学校を卒業した山本さんは三原市の新規就農者育成研修制度を利用して、午前中は研修を兼ねて市の野菜振興センターで働きながら、午後は法人の仕事をしています。

二つめは地域との交流です。地域の子どもたちに機械を使わない田植えや稲刈り等の伝統的な農作業を通して、交流をはかっています。普段食べているものへの関心を持つため、作る楽しみ、育てる苦労、収穫の喜びを体験し、農業の大切さを学んでいます。

三つめはセンチピートグラスや芝ザクラを使っての畦畔の保全管理です。畦畔の草刈りは重労働です。今後、ますます高齢者の割合が高まるにつれて畦畔の管理が難しくなっていくと考えられ、地域の環境を守るため省力化を図っています。



表紙の写真

田んぼの中での披露宴
久井町羽倉の田んぼで、農業後継者の結婚披露宴が行われました。

編集後記

食料を生産する農地は人類が生存するために不可欠なものです。農地を守っていくには、少子高齢化や米価の低迷による後継者不足、地球温暖化による環境変化等々、たくさん課題があります。これらの課題解決のためにも農業委員会は農地パトロールや農家との情報交換を行っています。農業が発展することを願って編集後記といたします。

編集委員長 加村百合一
編集委員 吉森 峻二

下西 忠明
井長 哲
舛本 忠
新島 雅美